

新高通信



第45号

秋田県立新屋高等学校

新年度のスタートにあたって

校長 佐々木 律成

学校創立30周年の昨年度は、記念事業の成功に加え、特に部活動等の躍進が著しく、これも皆様の御支援・御協力の賜物と、厚く御礼申し上げます。さて、始業式で、生徒に「恵まれた条件や環境をねたまず、うらやまず、今自分が置かれている条件や環境のもとで、工夫しながら精一杯の努力をしよう」という話をしました。実践例として、降雪期をハンディとは考えずに練習を工夫し、中学では普通のレベルだった選手が高校で成長し、甲子園出場を果たした角館や大曲工とともに、昨年度の新高サッカー部も挙げました。有力選手が集まる強豪校にねたみやうらやみを持たず、「個々の力は弱くても、チームとして結束し、自分たちの持ち味を磨けば対抗できる」という信念でひたむきに努力し、ついに勝ち取った全国選手権大会初出場でした。

そのうえで、日々の生活で無駄な時間の使い方をしないで学習時間を確保し、すき間の時間も利用して学習をこつこつ積み重ねる、具体的な「文武両道」の生活を奨励しました。現実には、部活動後の帰りの電車内で、寸暇を惜しんで勉強する高校生の姿を見かけます。

創立40周年に向けて新たな第一歩を踏み出した新屋高校に対して、今後とも、関係各位の一層の御支援と御協力をお願い申し上げます。



平成27年度 第32回 ～入学式～



4月7日(火)13時30分より、本校体育館において第32回入学式が挙行されました。

佐々木律成校長より、新入生175名に入学許可があり、新入生代表1年B組佐々木健人さんは「挑戦する気持ちを忘れず、仲間と協力し合い、充実した学校生活を送ることを、ここに誓います。」と、誓いの言葉を述べ、高校生活への抱負を胸に、新しいスタートを切りました。

PTA総会・学校後援会総会

4月22日(水)、70名の保護者の方々の参加を得て、平成27年度PTA総会及び学校後援会総会が開かれました。総会の前に、授業参観と吹奏楽部による演奏会も行われ、日頃の生徒の活動に触れていただくことができました。

PTA総会では佐々木校長から、昨年度の部活動の活躍や進路達成のお話と、本校が「おらほの高校」と地域から支えられていることもあり、地域、保護者、学校が三位一体となって取り組み生徒を教育していきたいとの話がありました。また、役員改選で、安田喜代治さんが新会長として承認されました。

続いて学校後援会総会も開かれ、武藤真作会長の退任と嵯峨透新会長の就任が承認され、保護者、職員の新たな協力体制が整いました。



ももさだ講演会



5月1日(金)午後1時30分から、本校体育館で、「ももさだ講演会」が開かれました。講師は本校17期生で、現在にかほ市議会議員の佐々木雄太さんでした。

佐々木雄太さんは、吹奏楽をやりたくて仁賀保中学校から新屋高校に入学した時の経緯、大学時代に国会議員の秘書をした経験、卒業後故郷の信用金庫に就職し、様々な地域で苦労したこと、その後不景気の中で、地域の人からにかほ市のために頑張ってほしいと言われ、市議会議員になった経験などを紹介し、「挑戦すること」「チャレンジすること」の大切さを強く語ってくださった。

今後の主な行事

6月5日(金)～6月9日(火)
6月26日(金)～27日(土)

全県高校総体(陸上5/22～、サッカー5/29～)
新高祭(一般公開は27日)
テーマ The Best Story
～刻め歴史の31ページ目を～

生徒指導の基本方針

生徒指導主事 川村 寿紀

自律的態度と基本的生活習慣の確立を目的とし、生徒1人ひとりが新屋高校生の生徒としての誇りと自覚を持ち、節度ある行動をすることを身につけさせるために

- ①規範意識向上
- ②非行、事故の未然防止と、問題行動発生時の適切な対応
- ③学年部・教育相談部・地域・家庭との密接な連携

といった3つの項目を具体的指導として力を入れていきたいと思っております。
御理解と御協力をお願い致します。

胸を張って語れる1年に

進路指導主事 石井 啓之

4月に実施した進路志望調査の結果がまとまりました。各学年とも、進学希望者の割合が9割前後と多く、就職希望者が1割前後という結果です。また1、2年生で、進学とは決めていても校種（4年制大学、短大、専門学校など）、具体的に進みたい分野（学部・学科）、学校が明確でない生徒や、就職を考えていても希望する具体的な会社・職種などを絞れていない生徒がまだ目立ちます。LHRや総合的な学習の時間等を利用して、ガイダンスをはじめ様々な進路学習を進めてまいります。保護者の皆様から是非、将来社会の中で果たしたい役割を具体的に考えさせ、志望を明確化するよう仕向けてください。

進路通信第1号で、生徒の皆さんに是非この1年を「胸を張って人に語れる年」にしてほしいと述べました。就職試験（将来大学生等として受けるもの）や入学試験の面接で問われるのも、結局は小手先の技術でなく、「いかに自信を持って自分のことを語れるか」ということに尽きます。その意味で、「学習」と「活動」の両方に積極的にしっかりと取り組む高校生活を是非送ってほしいと思います。学習面では、特に家庭学習の習慣を確立してほしいと考えています。国公立大学、医療系の学校、公務員等の難関に現役で合格するためには、1・2年生の時から、部活動に入っている生徒で毎日2時間、加入していない生徒で毎日3時間以上の自宅学習を継続し、授業の予復習や発展問題に取り組む必要があります。活動面では、部活動、生徒会活動、高大連携授業、ボランティア、様々な地域活動などに積極的に取り組み、胸を張って語れる経験を重ねてほしいと思っています。

未内定問題や早期離職など若者の雇用の問題がマスコミ等で取り上げられることも多いですが、どのような社会情勢にあっても、目の前の課題に逃げずに取り組み、日々充実して過ごすことのできる若者を、社会は求めています。多忙を極め、悩みも尽きない高校生活の中、何事にも積極的に挑戦する逞しい新高生として育つよう、保護者の皆様をはじめ関係各位の御支援、御協力をお願いいたします。

4月進路志望	合計	国公立大	私大	短大	専門学校	進学未定	民間	公務員	就職未定	全く未定
1年生	175	45	5	8	35	66	0	7	6	3
2年生	195	79	20	16	40	25	2	9	4	0
3年生	198	59	40	19	42	7	16	14	0	1

♪♪ # 吹奏楽部フレッシュコンサート ♪♪

5月4日(月)午後1時30分より、秋田県民会館において吹奏楽部による第25回フレッシュコンサートが開催されました。第1部クラシックステージ、第2部音楽劇「七夕物語」、第3部ポップステージの3部構成でした。今年は1部で「たなばた」という吹奏楽オリジナル曲を演奏し、2部の劇と一体感あるプログラムでした。また、3部はキレのあるダンスや歌、そしてサウンドで聴衆を魅了しました。

各部の活躍（中央支部総体）

陸上競技	男子400mH	第2位	渡邊 敢巳	ソフトボール		第3位
	男子走幅跳	第3位	京谷 蒼之介	バドミントン	女子学校対抗	第2位
	男子砲丸投	第2位	佐々木 海斗		女子ダブルス	第3位
	男子円盤投	第3位	正木 快			滝沢 優奈
	男子ハンマー投	第3位	秋元 太陽		女子シングルス	第3位
	男子やり投	第3位	滝田 工	弓道	男子団体	第1位
	女子400mH	第3位	遠藤 菜摘		女子団体	第2位
	女子砲丸投	第1位	加藤 志織		女子個人	第3位
						渡部 千乃

～スクールカウンセラーのお知らせ～

今年度もスクールカウンセラーとして臨床心理士の土田千諭先生（秋田大学医学部附属病院小児科）が来校します。日程と時間帯に関しては4月に「スクールカウンセラー来校について」でお知らせしていましたが、第2回目の来校となる5月15日から時間帯が変更となります。すべて30分繰り下げての開始となりますのでご確認ください。

（ 14：30～17：30 / 5月15日、9月4日、10月2日
15：30～17：30 / 6月19日、7月10日、11月20日、12月11日 ）